

行雲流水

No.316 令和5年6月14日発行

フェアプレイ

校長 寒河江 正人

令和5年度の「北村山中中学校総合体育大会」。
5月1日の**駅伝**から開幕し、すでに、**水泳**、**新体操**まで、地区予選が終了している。
そして、いよいよ**今週末**。その他の競技の**地区予選**が開催される。

さて、参加する生徒諸君。

「**勝ち・負け**」や「**順位**」のみに**頭の中**や**心の中**が**支配**されてはいないか？
勝負事なので、気になるのは当然のことだが、そんな時は**自滅**しやすいものだ。

「**フェアプレイ**」は、そんな**ピンチ**から**生徒諸君**を救ってくれる。

「**フェアプレイ**」には、2つの意味がある。

1つ目は「**行動としてのフェアプレイ**」である。

たとえば、「**ルール・マナーを守る**」「**審判や対戦相手に敬意を表す**」「**全力を尽くす**」
「**勝っても、おごり高ぶることなく、負けても、ふてくされたりしない**」など、
「**その人の態度・行動に表れること**」をいう。

2つ目は、「**フェアな心（フェアプレイ精神）**」である。

スポーツの場面だけに限らず、

「**日常生活の中でも自分の考えや行動について、それが良いことなのか、悪いことなのかを自分の意志で適正に判断できること**」

「**自分自身に問いかけた時に、はずかしくない態度・行動を決められること**」をいう。

「**態度・行動としてのフェアプレイ**」は、だれが見ても「**これは良い**」と思われる**行為**だ。
一方、「**フェアな心（フェアプレイ精神）**」は、心のあり方なので他人からは見えない。

しかし、この**2つ**は、決して切り離せないものだ。

本校の選手諸君なら、

対戦相手と**熱く熱く戦いながらも、冷静な頭と心で「フェアプレイ」に徹し、**
勝っても負けても、「学び」のある「成長」のできる大会になるものと信じている！！
では、健闘を祈る！！